

## 世界のドラゴンフルーツ市場の未来を形作る

[FreshFruitPortal](#) 2025年3月26日

世界のドラゴンフルーツ市場は大幅な成長が見込まれており、その価値は2023年の5億730万米ドルから2033年には9億7,360万米ドルに達すると予想されており、これは年率(複利計算)6.7%の増加に当たる。ドラゴンフルーツは温暖で湿度の高い気候でよく育ち、その常緑樹としての性質により一年中出荷される。

ドラゴンフルーツの人気の高まりは、がんや喘息などの慢性疾患との闘いや血糖値の調節を助け、肌や髪  
の健康の促進に役立つ豊富な栄養的特徴に起因している。食物繊維、ビタミン、抗酸化物質を豊富に含む  
この果実は、バランスの取れた食事のために栄養価の高い食材を求める健康志向の消費者の間で注目を集  
めている。

多様な消費者の好みを満足させるため生産者や食品製造業者が様々な熱帯産品を開発する中で、ドラゴ  
ンフルーツは市場の拡大を推進しており、飲食料品業界で重要な役割を果たしている。持続的な市場成長  
の可能性は、パーシステンスマーケットリサーチ (PMR) 社の調査結果で強調されているように明らかである。

### 主要な市場成長要因

ドラゴンフルーツの豊富な栄養素含有量や抗酸化特性など、ドラゴンフルーツの健康上の利点に対する認  
識の高まりは、需要を促進する主要な要因である。消費者は、慢性的な不健康状態の緩和を助けるこの果実  
の能力を次第に認識してきており、食事に加えるのが望ましい食材となっている。さらに、より健康的な食生  
活へのシフトは、自然で栄養価の高い食品の選択肢の一部として、ドラゴンフルーツの消費の増加を促進し  
ている。

飲食料品業界は急速に拡大しており、ドラゴンフルーツは様々な製品の原料として人気を集めている。そ  
の汎用性は、生産者や食品製造業者が革新に取り組み、変化する消費者の好みに対応する新しい製品を  
生み出すことを可能にした。さらに、市場のグローバル化と貿易促進的な政策により、ドラゴンフルーツの市  
場の範囲が拡大し、以前はあまり見かけることのなかった地域でドラゴンフルーツの入手が容易になった。

### 課題と市場の制約

その常緑樹の性質にもかかわらず、季節的な変動が供給と価格の安定性に影響を与える可能性があるた  
め、ドラゴンフルーツの栽培は依然として課題に直面している。また、この植物は病害虫の被害を受けやすく、  
収量や品質に影響を与える可能性がある。さらに、この果実の繊細な性質から、特に長距離輸送では慎重な  
取り扱いが必要であり、輸送や日持ちの問題も大きなハードルとなっている。

ドラゴンフルーツの栽培は温暖で湿度の高い気候の特定の地域に限られており、地理的な制約がある。こ  
のため、この果実が栽培されていない地域では供給不足や価格変動が発生する可能性がある。さらに、ドラ  
ゴンフルーツ果樹園の設置には、土地、インフラ、栽培方法など、多額の初期投資が必要であるため、一部  
の潜在的な生産者の市場への参入を妨げている可能性がある。

### 市場動向

消費者は、有機栽培や持続可能な方法で生産されたドラゴンフルーツにますます関心を持つようになって  
おり、環境に優しい農法の需要が高まっている。この持続可能性へのシフトにより、生産者は有機栽培、総合  
的病害虫管理、水保全技術など、環境に優しい農法を採用するようになった。

供給サイドがこの果実の新しい使用方法を模索するにつれて、ドラゴンフルーツ製品の革新は重要なトレ  
ンドとなっている。多様な消費者のニーズに応えるため、ドラゴンフルーツベースの飲料、スナック、デザート、  
さらにスキンケア製品が開発された。また、電子商取引の台頭により市場が拡大し、消費者は様々な地域の  
ドラゴンフルーツ製品に簡単にアクセスできるようになり、オンライン販売の成長が促進されている。

健康とウェルネスのトレンドが消費者の行動に影響を与え続ける中、栄養上の利点と病気と闘う特性で知ら  
れるドラゴンフルーツのような機能性食品の需要が急増している。

## 最近の主な動向

需要の高まりを受けて、ドラゴンフルーツの栽培は、ベトナム、タイ、コロンビアなどの気候条件が適した新しい地域に拡大している。これらの地域では、世界的な需要に対応するため、増産に取り組んでいる。水耕栽培、垂直農法、環境制御農業などの技術の進歩も、収量、品質、持続可能性を向上させることにより、ドラゴンフルーツの栽培を改善している。

供給サイドは、新しいタイプのドラゴンフルーツベースの飲料、スナック、デザート、さらには美容製品など、革新的な製品の開発にますます注力している。一方、より多くの生産者が環境に優しい農法を採用するにつれて、業界内の持続可能性への取り組みが強化されており、環境配慮型農業への需要をさらに支えている。

出典: [Persistence Market Research](#)

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の個人・企業や製品を推奨または批判するものではありません。)

## (関連記事)ドラゴンフルーツが抗酸化物質と食物繊維で人気

[FreshPlaza 2025年3月26日](#)

およそ3英国ポンド(約3.75米ドル)のある熱帯果実が、その潜在的な健康上の利点で注目を集めている。この果実は鮮やかなピンクまたは黄色の外皮と緑の鱗で知られ、内部の明るい白またはピンクの果肉と黒い種子は、その栄養プロフィールで注目されている。

ハーバードヘルス(医療情報サイト)は、ドラゴンフルーツにはビタミンCやセレンなどの抗酸化物質が豊富に含まれており、これらが炎症の緩和に役立つ可能性があることを強調している。抗酸化物質が豊富な農産物を多く含む食事は、心臓病、糖尿病、及び特定の癌のリスクの低下と関連している。3.5オンス(約100グラム)のドラゴンフルーツは、約82カロリーの熱量を持ち、14mgのマグネシウム、206gのカリウム、2gの食物繊維が含まれている。ハーバード大学公衆衛生大学院のテレザ・ファン博士は、ドラゴンフルーツが果実の摂取を多様化する役割を強調し、「もしそれで人々がより多くの果実を食べるようになるなら、そうすべきだと思う」と述べている。

ファン博士はまた、利便性の観点から冷凍ドラゴンフルーツを推奨しており、「冷凍ドラゴンフルーツは旬の時期に収穫され、すぐに冷凍される。言うまでもなく、すべてがきれいにされ、皮がむかれているので、手間がかからない」と話す。

メキシコ南部と中央アメリカを原産地とするドラゴンフルーツは、現在世界中で栽培されている。クリーブランドクリニックの栄養士であるジョイス・プレスコット氏は、消化器系と心臓血管系の健康をサポートするその繊維含有量について言及している。同氏はさらに、「食物繊維は満腹感も与えるので、体重を減らそうとしている場合に役立つ」と述べている。

プレスコット氏はまた、この果実は腸内の善玉菌のエサとしても作用し、善玉菌の生育を促進すると説明する。これにより、消化が促進されて結腸がんのリスクが低下する可能性がある。ドラゴンフルーツは、単品で摂取することも、サラダ、スムージー、デザート、カクテルに加えることもできる。

出典: [SurreyLive](#)